

神戸から長靴7400足

県漁協北上町「消耗品ありがたい」 十三浜支所

東日本大震災から復興運営委員長に長靴を手渡す。支援に感謝し、一日も早い復興を目指したい」と話した。寄贈はクラブの30周年記念事業の一環。仙台のロータリークラブや地元の水産会社のつながりで贈呈が決まった。長靴は軽くて水中でも滑りにくい材質の物が選ばれ、男女それぞれの複数サイズが用意された。贈呈式後は住民らに配布。長靴を受け取った北上町十三浜相川の無職小山喜恵子さん(67)は「海の仕事で使うので長靴は消耗品。1シーズンで履けなくなるので、とてもありがたい」と話した。

東日本大震災から復興運営委員長に長靴を手渡し、佐藤運営委員長は細谷会長らに感謝状を贈った。細谷会長は「神戸も震災で被害を受けたが、皆さんの経験は比べものにならない。絆を強め、復興に向けて頑張ってほしい」とあいさつした。佐藤運営委員長は「多大な物資をいただきあり



長靴を手にとやかに懇談する細谷会長(中央)と佐藤運営委員長(右)ら。石巻市北上町十三浜